別 3 2 5

国立国会図書館　タイトル『小町躍』 請求記号 本別3-5

ガラス使用

3.681

帝國圖書館藏

夏

更衣　牡丹
新樹　新茶
牡若　若楓
葵　祭
柘榴　梔子
麥出　橘
短夜　麥月
稽　青梅
競馬　惟子
夕涼　石竹

灌佛　餘花
卯花　鄭公
手鞠　百合草
榊　苧子
水鶏　蚊
若竹　螢
廉子　麥草
五月雨　端午
早苗　瓜
鮎　氷室

俳諧書二西精舎蔵原之彦記

巣文庫

国立国会図書館　タイトル『小町躍』　請求記号 本別3-5

ガラス使用

一夜酒　芨菊
蟬　夕立
祇園会　茄子
納涼　薫風
御扇　暮芨

扇　鵜
雲嶺　壁詣
暑日　汗
泉　蓮
雜芨

小町踊集二

麦　弘永
更衣　定重
綿　貞徳
花乃春　芳昌
春と夏　尾刈ノ身
夏と秋　重良
秋と冬　常倫
麻衣　
綿　
傍輩

[illegible]　武田　壽信
[illegible]　為親
[illegible]　政之
[illegible]　宗言
[illegible]　常辰
[illegible]　同
[illegible]　立圓
[illegible]　同

牡丹　付芍薬

[illegible]　徳元

花いらんでたこうる牡丹乃匂香うか　重頼
日は祇すと稚やめくをて炎日茅　常辰
芍薬の写しやうりあたる面茅　円

灌佛

灌佛ハあらたうや蛾しやか　巖住

餘花

積雪は余花やわりもろ家樹　吉弘
卯月あも心乃動やはきは月　弘永

新樹

枝ゝ乃柳ハ化佛菩薩乃形　親信

たちてい島いとゆくす寺中に未　玄札
萩花乃袖ぬらすらむ　昌意
春と夏とをとけ打ませの数の棚　毛輕
菊の末や御社のうらん風乃神　資方
友山いまさ菓なりしわまもり　貞室

新菓

名も香もうつくしかさ菓哉　幸和
むしとはいはじ菓さ酒の新菓哉　玄佐
安部子めつらしさ香の新菓哉　貞徳
春ふかくなり先小入し新菓哉

むしうら常めつらしき新菓哉　重庸
俗新菓や今ふたなり　保友
白い鶯のたゆ菓や童紙らやこもり　重以
梅の尾と菓とは小袖の字治菓哉　方孝
初鰹とて摘菓い今もむしうの郭　方女
名も香も同じむしうの新菓哉　則常
新菓古菓その名小ふるゆる酒のうる　政之
新菓とて花もひおもうそ　信元
壺の古菓むしうにうの文ふる　宗甫
古菓新菓袋ゆ入ふくもうふる　但重
袋切の菓やうら屋なる鶯の飛　立圓

卯花

卯の花は雪かとも時の葉乃湯かと
雪見をも一度ずつ見るうの花の末の邦　貞徳
鶯なりい泥の卯の花を警めいろ　同
垣ごかい雪掃かなるやと花うの末　徳元
姿葉はあい打とうるうの末　正重
つとれてい雪うと紅葉花うの末　信元
卯色や風のまにまうふきて
姿夜のさい月はくかやうりさ墻
卯花よ枝をたりに雪ひとれ　重頼

いけもてを富士はあやうれ雪見茶　時興
垣ねとうや白壁とをたしうの末　嶺利
卯のうるは葉はうるうや辰の河　季貞
縄ともしすうや霧のうの末　好与
卯花やかうの雪は辛さうし　宗雅
ふうくやのうるうや卯の花さうり　立園

郭公

名乗せは卯や橘かとき法
名乗ふきり柳うれそはとき人　良春
天の戸や雲にかとくほとき寺　利清

賣うり　いう行　言葉のかたち
敷さけの門てやそてほとき
そけい帰　とちをうの郭云　貞徳
うくひすは　繼子う　仰　かたち　知徳
面白い　巻紙入　かたち　重頼
かたちきすに　嘆う　名所う　同
なりてはくに　とちわる　成安　同
宗祇　何乃　かたち　三象
いつをさうん　伽羅の　初雪と　竪語
実ちや　市乃　山ほとき　貞室
浦ちをちや　雅波の　郭云　同

名人をなすいそれ　郭云　正直
名いは　先　勢　紙　初雪　貞盛
一ちい　自慢う　早下　ほとき　重周
かちきちうわや　芸をかし　藝　不競
一ちいなちけの　羅紗かたち　静壽
実ちに　連　世間そほとき　信親
匂ひわちちやちる　郭云　定清
耳ハ　鬱　何とあちやかたきと　同
一撃や　敵ちうをほとき　吉里
撃実を　功徳　ほとおす　正平
あひちその　左　一ちい　郭云　元躬

鳴ぢかい陣化さうほうきく　宣存
待宵の行灯をかくやかなとと　重勝
紅屋のはてしらや牧ほとゝす　長吉
浦士のうるもにてもせしわ時鳥　忠之
六根乃科いとゝほをかなとゝ　忠清
うらひすのひとあうなゝわ郭公　芝山守武
はつけるゝゝなとなたくく　阿波利冬
秋さあにもこゝはあそせねけるる　了首
いやあなうみたうみとけかなゝきす　宗鑑
ねひとりやさうてうしの郭公　播列良政
ゐみやゝうれゝなうわかなゝた　高山笑月

かなゝゝ法師なくくに日待うか　卜琴
ちうゝゝゝゝゝゝ郭公　正永
寂鳴をあう海とゝうほゝき法　重良
行ゝゝ山やみ法ゝ時ゝ　雲列就武
一ゝ山い寂ゝけしやかゝゝた　随喚
日ゝにあゝたみきゝや郭公　毛軽
雲ゝむせうくひすの子う時鳥　立静
仰ゝゝ山乃いとゝもゝれ郭公　清乍
若ゝゝかゝれの淫水法ゝゝす　智詮
時ゝなくとれとゝれ白もう邦　秀立
若恵うゝゝ法ゝゝゝ郭公　政之

国立国会図書館　タイトル『小町躍』　請求記号 本別3-5
ガラス使用

一ふみ産神をとゝせつゝ付ける　為親
鶯いと伝いうゝ雲井の郭公　好子
空書うゝ忘いとゝめるや時鳥　有哉
山売い比翼ハ新うほとゝきす　信世
一琴や山彦乃雑ハかゝるす　友貞
ゝ忘せぬい変仏世界の郭公　同
山辰せし彩ゝゝいさほとゝきす　素言
根ゝひきよ売ゝ里のかゝるを　嶺利
空音の新しやほとゝきす　常辰
かゝるゝゝやゝ宣ハたのゝ　延親
彩ぬるいゝの彩来ほとゝきす　立

昌房
空忘の彩ゝせつゝ付ける　同
ゝて空彩ぬるやかゝるす　同
人生の何そゝとゝほとゝ　同
ゝとゝ酒ゝ年暮の郭公　立圃
年ハ今月乃彩売ゝゝと　同
月ゝゝ地ゝ忘れ付島　同
声や雑新宝結会のほとゝ　同
ほゝゝゝすゝ忘ゝ面に一ゝ　同
一琴や鶯ハ小せんかゝよす　同
子規売ゝゝゝゝゝ　同

牡丹

絵師もしばしいかりいそかさつつ　良徳

あかつきのみつそやたるむしろの花　惟貞

沢水いあかなるかつらかけよりふ　光政

畫工小もまいらのいせしの面　信安

沈あれ行をあの紙鄉うなよとれ　不競

絵ゝ入るや鄉色しゝと桔梗　正房

つりこそそあらしきのうかよ花　安俊

わやめ茅と鄉ゝやゝ頬と面よ姿　有哉

あの玉やあらかたまうかけよを　交貞

とよつゝ水のおあやかうゝ　三圓

小花ゝくゝかけゝくゝ白よ花　同

若楓

色あやむ茅集乃わゝ楓　麿哉

紅なゝて若ゝあゝ集やかゝ　正依

うなもわゝ楓の茅やかゝ　忠

手鞠

花ゝもゝ風ゝゝ鞠ゝ　高敦

月いゝゝやゝ花の庭　大窪真也

百合草

墨ゆりのこゝろ乃歌　貞徳
蓮葉の鳴の墨ゆり小姫ゆり　貞継
こゝろなく打人や墨ゆりの花　豊隆
夕かゝ乃浦ゝや立ん車百合　正直
つきのゆくこゝろもやうし車ゆり　延次
蝙蝠や笄ゝてむらゝ百合　麿哉
とく爲ハ秋光の玉ゝ車ゆり　定歳
ゆゝ人なき水ぬるゝゝ夏合　三辰
玉そくゆりかこ用しゝ花の歌　澤元
めゝりけひてゝゝやそれ花車ゆり　堯雅

為ハ　てい下照姫やゆりのこゝろ　松安妻
浦乃みゆ心ちもしひぬ小姫百合　山田女
墨の打寞ゝゆりれ乃歌乃玉　尊鳴
吹風ゝ花揺ゝひやゝゝ百ゆり　意朔
ゝかゝゝハ方ゝやせゝれや小姫ゆり　爲親妻
遣方やれゝひめゝゝん車ゆり　馬越元定妻
とそ咲ハゝれそ見ゝハ車夏合　乃閑
ゝも酒ハ車やゝゝゝ百合のこゝろ　正朝
姫ゆりゆひゆひ名付ゝ百合ゝ　定親
ゝゝ風ゝ知れゝゝ百合や松浦姫　同
同ゝゝゝ墨ゝそいゝゝ百合の花　政之

ほかむしろはまさうるやこ姫ゆり　宗雅
姫ゆりの花よりこれ高やいろこのを　常辰
佛ゆるしこれ墨百合や紫と愛　同
手車にのるや風の小姫ゆり　昌房
墨ゆりの花や雫守乃水かろみ　立圃
数ゝうもあるこれ何ゆりの花　同

蓑

あつひ第二の蓑ふい賀茂の下とれ　廣庭斯祐
玉蓑やかつむろうへのいきす玉
拍の音やいつむ蓑のうへなれ　巻友

蓑もうけくたのむや御簾蓑　定親

祭

水神も守護して口も祇祭　常辰
わたりの川いく瀬そやをまつり　之宗
さきの蓑や榊に宮はれをまつり　定親
わりき日はさつもいやを祇祭　巻友

榊

祇木はれらてさうふさうを祇　立圃

苏子

実しり先さけハ苏子ハ花
花のあかるとてこそ苏子ハ

伊勢 盛政
黒音

柘榴

実ハうるてかるく紅や花さくろ
実もさくはうまてよ紅とて花さくろ
実みもしろ物もけの花さくろ
うれ分こそわこに薮ハ咲さくろ

松尾 弘次
任口
玖也
賀

梔子

おくせしとはるすしに塩かるれ
いさのまん赤ハ危の花ハ塩

徳元
重頼

水鶏

七くさわくれとたく水鶏ハ
ゆもすくうにはくくる鶏ハ

忠満
立圃

蚊

蚊のこゑハ中ゆるさらやう四方ハ
夜乃夜ハ蚊の付くるひるハ
ハ上ハ蚊こそあれとなかせ

宗壽
重勝
玖也

国立国会図書館　タイトル『小町躍』　請求記号 本別3-5
ガラス使用

散くにまちうん蚊屋哉　貞盛
大江山いく野を丹波の屋　宗立
蚊のこゑいとうとうとあれぬ　正直
あくさ蚊のひとせつもうもう夕烟　流及
かのこゑいゆ宮あさう寢耳うれ　良景
ちちひとあ蚊ちうそそ夜ぶ　河内延之
風ふ蚊ひなひくいゆを拉うか　重方
わいて屋ったて蚊帳やあてて法師　次良
夜の秋やして蚊のまれ元　玄秋
蚊のこゑやうちひもれ袁乃蓋　政之
夜ぬ秋い移ふふ蚊帳うか

異行ぬきしりあやうれ殺蚊
宮紙れと蚊のちゆやんぬ蚊
蚊帳ちるを浦ちうかちりぬるか　昌房　立圓　同

蚤虫

物ひしやみを屋たひもの虫　春可
火とり出ひとしたるれもひ　好元

橘

たもちけて橘の香や反魂香　重頼
かりふいをみる梅の羽衣うか　康庸

若竹

竹のをいみをたれしまれる邦
をくるにそうしゆうや園の竹　常久
それくるみ世ゆくれ乗のをたれ　盛一
竹乃子れそらくそらくや見寿　想一
乗のをい親ゝそられぬをい孫ゝ　幸和
焼竹れをまや後の松くら　同
醍醐味やしゝ竹の子れ水加減　空存
松や乗の子をゝ竹の子れ月嗣　重方
嬰中くらし竹の子れ書くゝ　春原政成
竹のをやそたそくかをを乃松　之政

子のくをいをせのとていのを若竹を
若竹や根しゝみんゆう馬乃鍬　任口
をやうそて月いやを薮乃女竹　徳元
竹のをいすしかゝをうれ　大谷貞盛
じまれくゝ世ゆく拍乗れをとをを　智詮
未年のじを乗乗馬や先乃松　さん
くを毎れかをの親子や薮の竹　催矢
生れ世のくをゝじ竹乃年子を　嶺利
子竹くをを世み月いわや女子竹　常辰
麻くりをくをを竹のをれ　政之
子乃親ゝまれゝ紫竹ゝ　家雅

彩窓より仙の竹乃わかえれ　貞立

君乃乗れる雲に笹のこもるを乃　立圓

竹のゆもとゆ生なる孝の道　同

乗乃子乃名やはさこりく八九乃　同

老ぬきまし御や竹のうの大夢　同

若竹の新葉ハ御しれとりうれ　同

わう乗やうゆ生かうのたてなと　同

雲

雲ハ出ふ山ゆの大紙うせ雲

雲大紙雲ハ出くよいけ乃水　光貞妻

風ふりる雲ハ波の花大乃

さうはゆ庵ふ大ゆ雲

みく福と秋光乃玉ハはるれ　良春

雲大ハ川の淑中乃やいと乃　章和

水と火の相性もゆ紀ゆ乃ゆ　民重

乗守ゆハて雲乃花大れ　孝晴

雲しもひゆふ御ゆる雲乃　屋一

宇治川く大花とゆる雲ゆ　宗安

高雄山雲のゆるもゆ大ゆれ　貞徳

額大ゆとたりひふそゆ花雲　同

文字ゆれて庵紙ゆる雲ゆ　同

正式

犬いるれあるやはりかなまや蛍雲
弘永
なのもの水ゆあらじかりうれ
定勝
行て新むう雲やかの風姫
休音
月夜ゆいやうくとかう雲う邦
宗存
雲犬いらんてはこれふひうるか
光有
ケくれるうまは雲のひの出れ
光重
雲れ雲の蛍やかうるのひとり玉
貞義
出いが犬て犬い水よ入はうる邦
和通
ろるんの国かれ花うかうる乃犬
交云
雲犬とやいうをけうんあ式れ
重成
狐犬ゆかつりてうるはうるか
吉尊

やうくとぜとうれぬるはうるか
信元
雲犬い国うりあるひうる邦
同
池乃花にうはうる雲や水尅犬
白云
頭うう庭いかくうるかるか
慶哉
風うかりゆるい流の国はうれ
廣寧
ようるいふ花犬とあるは雲邦
静壽
わりと星とうう一き川の雲うか
利貞
橋姫の灯明うまるやうるう一
重頼
ちらう一れよ扇乃芝て雲
同
光けりとうるい雲の庭国うか
同
たん言いう醫学の宗て雲
元隆

月乃花ハ園の鶴うか
ほうる火や扇の芝ハ草乃うけ　元定
入わひの猶ハ雲の火打う邪　正吉
雲ふもを寺と字治との間うる　後輝
金色雲ちいこれも蓋ふこ　（幸田）忠利
むしう何そと人乃ら上かる　（古市）正信
いこう火の新ハかるう東月雲間　重因
蓋も来れ下園照也ほるれ火　久忠
雲ろ紅ひうるうなるや上雲　常辰
蓋ハいさ雲れていきく恋ほうる　同
雲火とうけを琉黄うるの泡　京言
　　　

短夜

夜の更やたもひまもなし一重帯　宇都宮　季清

ふるう更れわらるハかの〳〵中ゝ小　良景

寒乃夜や郭霍なるうゝ月清西とも　友貞

夜れ更ハ上をとゝすれハ郭霍外　昌房

寒の更れあくと苦るやちゝの声　立園

月乃夜やしゝ郭鄭のうまゝゝ　同

夏月

うゝう更れわらるや月の色いろき　幸和

みしう更ハいろもけ月れ乗　京　重政

夜れ夜や過るにゝ月乃舟　知徳

みか月とゝくそゝく沖波浪　立参

月ハるよひすしも深し水れ戸　昌久

西ひしとゝりけゝりきう夜乃月　晋寿　不卜

ゆりゝや雷光ゝゝ寒れ月　成政

夜の更ハそゝ月ふる　美濃　一眠

ゝゝの夜れ月乃ゝ狩やゝきれ宅　東源

ひゝゝや月の扇れ雲なゝ　新山　正信

ゆ月ゆれ時乃月や世價れ玉　友閑

ゝゝゝは下れ旬なゝゝ夜の月　智詮

[illegible]山の月[illegible]わたるかな　正朝
この夜の月の扇の[illegible]　方孝
夜乃月[illegible]月とうたひけれ　嶺利
夏痩のわるかの月の新[illegible]　[illegible]
[illegible]やき[illegible]日[illegible]の月　友貞
涼しさハ扇の[illegible]の月　昌房
わすれやすき夏[illegible]の月　立園

康子

待人[illegible]れて肝やけしのこ　立園

夏草

意[illegible]ものや[illegible]人の[illegible]　定時
[illegible]灯[illegible]草[illegible]　重頼
[illegible]やとをぬいの[illegible]　〃重
[illegible]　宗寿
花の[illegible]　忠満
[illegible]　正直
[illegible]　丹波重勝
矢[illegible]草[illegible]　見藤
[illegible]　月矣
[illegible]や野への[illegible]草　親十
[illegible]　重良
[illegible]草
[illegible]人草
[illegible]や余[illegible]

初さくらひの獅子まつり風ふく
とよの名乃花よりなよ風車　貞昌
夕みてそうはるや小町おうり花　流味
夜ぶかのや皆一門名はれを縁者　伊賀上野　一笑
うくひす一樹やうさまれしる代　亦
麦草や外猫の麻れまくてみ　嶺利
連犯といふ麻すつまうつ遊うれ　友貞
さそふ人ふみ乱色落ぶかの花えう郎　資方
ふぶかの花の清水や浮線綾　岳女
樗　三信
あれはてうみはきとらうん雲ぶかの　重頼

青梅

すいかてみとうるや梅はさ月雪　正直
ものうるる梅やすうさ梅ふくのと　重方
青梅いま嶮花の青うの郎　冬至
花梅も実いとくしく沖祈水　昌房

五月雨付梅雨

五月雨や山ふもれ尾のうくてん　芝麦
さうれいだのこ雨きく日ふうれ　徳元
五月雨の京や月日はれを嵐　章和

五月雨や大海ちりて井の蛙　貞徳
さつきこれ水色なりて山もうつ　同
菖蒲船色もまし海や彩れ梅乃雨　同
五月雨や下界へうつりて海　重頼
さつきこれ河内とうつるうつるうつる　同
五月雨や雲のうつる紬のあらひ汁　吉久
水つけみどりのもとなるや梅乃雨　吉厚
五月雨い作り庭もや沖の石　昌意
ひさこれや敷の潟れ大なる　信勝
五月雨い堀の底なるうつるうつる　道宅
さみつきもい天下一河のなれれ　良重

夏ノ九

清洲のうつる畳をいさめ月雨
うつる堀や水まして紅梅乃雨　立静
山みえねさうるうつるやたゆれ雨　三千
五月雨り十分盃の池の水　光茂
さつきこれいはもくまれ夢うれ　親十
日暮のうつるねぬやうつる五月闇　業秀
花菖や雨い変して梅乃雨　定行
さ月雨降てかつまり地震う邦　順三
さみつきもこうつる濁やまし紀の海　常辰
桜川やこもとい濁やまし紀の雨　同
五月雨り風ちや水の浜行鳩　京言
　　　

時なもりもん泊こゝもや月の面
や月の面やみさもれ四海なみ　宗雅
菓まれ雲や宮もを木桜の面　姫子
ゆりかけを難波津うゝや梅乃面　同
たゝ沈の水や枝わやもしたの面　同
末酒もりう玉もをおもを桜の面　立園
かさひゝやわ玉多ん丁う梅の面　同
　　同

端午　付菖蒲　粽　茅巻

大和ぬきの彩れ菖蒲やなゝ刀　大山氏
女節そいゝひ玉江乃芦粽　長治

二日酔といつや六日の菖蒲酒　度次
おかわ水ゝ引くゝ菖蒲ぶ　則常
多ゝ水やゝ難波の芦粽　親房
涼ゝ水ゝ水ゝ石菖蒲　良盛
百菓れ中ゝ多と菖蒲乃邪　親十
彩の書もれ水ゝ花あや　方女
酔う酒う菖蒲とひゝ花ふゝう水　嶺利
風流さゝば菖蒲刀やたんこも　常展
あきゝゝ根つゝ彩れわやぶ　定親
根わゝれい細せひゝさゝ花ぬやわ　同
麻なゝわ菖蒲乃ゝ遊うか　政之

子の為や雑炊の芋を藻粽
藻のくも菖蒲うるれの粽うる　昌房
粽みさに菖蒲かるる松作り　同
のきれつくも菖蒲うるれやめうる　圖
軒口うるれるわやめうる　同
くもむや神うぬい目の糸ゆき　同
これも世のうるう粽よ人心　同

競馬

くくくく

夏衣うすくやんのうすぶり　孜也
あるくもはなはしらぬ（いかゝ）ゆくもしらぬ
ものゝ麻ゝらぬ　宗信
えりうしはなりくわし　重頼
ぬのさうもとうの帷子の袖のゆき　平直
うすのゝやもらぬくもりなし（花房）　信定
なるさゝしらのもさいらの紀深のこ　可章
かうもりの多や本鍋に伝流布　友貞
うゝのゝ井をいきにうり寄ぶし　好与
玄ゝく夏きたりしゝ白さゝし　宗雅

早苗

腰かはしうつ田ゝすゝめすゝされ　重頼
ちゝ寄ハ国の月の田うへ哉　清下
神代よりそゝやしぬる田ゝ　玄安

瓜付茄子 小角豆

梵天ゝ紙和国ふもいるゝ　貞徳
氷ゝとのえわる物や砂糖瓜　同
塩ゝ漬ひとひたるゝ水ゝ　同
鳴滝や茄子なりもとゝ寄　同
ちきりうん心そはゝ小姫瓜　瑞竹

う風を照日のもとに咲さうな邪　重頼
みはめてそらきう牛蛙小姫瓜
わと花はゆくの十八さけうか　正知
勝乃法うりそれ蔦しろ小姫瓜　村後
たくひすぐるわむいしやく茅子うる　友雪
指しうへいりをなるく茅子烟　頭成
わうは時のもうしいや砂糖瓜　本安
此は菓入はうる　集のとおもうち　定成
貴うへいん高人うの小瓜瓜　麻哉
らうくれ高くかもれうすれ　世耻
此はわうやうれを連把の枝さけ

指紫といけ海とうれさけうれ　三辰
うる山れはうる紫わこれもこう孫瓜　大阪 宗信
りん天の葉蔓をわくや瓜乃味　意親
盛うくこうきや曇の角さを　昌矩
くらしうれわけぱううや生茅子　
数うねまりうへ手や老茅子　摩茶 常信
垣くわいうひうへなうこ小姫瓜　元宜
文寄り仰も切やまうん瓜と瓜　立圓

夕貞 付益貞

知貞のまゆまやうゆさ花の河　重頼

[illegible]　三信
夕[illegible]を[illegible]する紙燭　重良
木[illegible]の[illegible]やたのもそなたのさと　備前延之
[illegible]や夕[illegible]の[illegible]　小出道政

石竹　付撫子　麻渡

なでしこやこれ[illegible]の[illegible]　幸和
なでしこやこれ[illegible]の[illegible]　知徳
なでしこ[illegible]の[illegible]　以一
なでしこ乃[illegible]や[illegible]　俳音
なでしこやこれ[illegible]　潤一元

なでしこ[illegible]　備前清元
[illegible]や[illegible]乃法　治任
[illegible]撫子のおちめと　常辰
[illegible]や[illegible]乃花　資
日さしを何[illegible]の石竹

鮎

[illegible]　幸和
[illegible]　宗雄
[illegible]　資
[illegible]
[illegible]
[illegible]

氷室

砂糖のもち異国まもく砂糖の例や白砂糖
ようのもや砂糖かもよりもち　　同

一夜酒

うちとけ味や河乃酒一夜酒　　和年
豊酒はうさぬうやちよ友　　常辰
酒入て行やもちろく一夜酒　　有哉
雪ぬるとしやみひとよ酒　　同

裝菊

交菊やとく白菊や一夜さけ　　宣良
交きくも根さへうまもや花の交　　常辰
裏葉よりちとれの香や合香　　定親
交きくい秋のさ時乃さうかう　　昌房

扇付園

山風紙縒よりしうち扇れ
源さも赤ひろうち扇邪　　貞徳
風の程まくいすかうの扇うか　　同
風乃神紙たとあそやもち扇　　幸和

源さえ紙あつく不乃扇なる
三笠山うすき月はうもなく園　永直
六月も雪ぬ物さにわすきされ　重方
六月い扇とはうる先れ　政公
風そうく小川とうやうこうも　正直
吹風や扇をつうしよたせうの　正甫
絵紙書て汗とかせね扇う邦　貞盛
あつさ紙もうとあよなにわすさう　重舎
源さもうこうくれまよ扇　寛政
扇ふあ人い揺うきさたうと扇うれ　昌意
きよ扇とあすい雪とそ扇　盛之
重頼

夏の部

夏い風ぬ風い風ぬ扇うれ扇
扇まわひうきさく源さ宮ぬ口　元宣
源さ乃ぬこうへ人やうもう扇　吉里
ぬに合すあひうう扇乃風　方喜
風ぬ扇ぬ物さのいわすきうか　三九
ぬすうひの扇やこれも風車　同
うさぬにくまうすい扇車うれ　資芳
折うに庭乃笹ぬ扇う邦　子岡
開さまよ扇ぬなりや雪ぬ　清市
うわりぬう風い雪やうぬ扇う　親正
源さい風紙まうぬそうぬれ　立安
　　未知

源氏の物がたりの扇　嶺利
昭君の麝香ぶくろ　同
すゝしさは清らゐ河のあきかぜ　常辰
ふれぬとは風にもあらぬ扇かな　同
名とゝろかれ老いぬる池の河ぶさ　同
かゝる日はいつゝとうたせる扇かな　宗言
交ゝらゐ扇や風乃神佛　同
源氏のふるとゝろ扇哉　友貞
春ゝらゐ扇い富士ハ雪佛　定清
絵ゝ見ぬ世ハ写書ゝの扇かな　満直
河ゝの流ゝとゝろ扇哉　誉文

敷のゝ花もあらけゝ園れ　耕叔
ゝゝやゝ紙ゝゝの風乃扇哉　武珠
ゝゝとしゝゝゝや扇の表ハ風　芳命
無風ハ吹ハ班女ゝ河ゝきれ　一守
絵合ハ十二のゝゝハ扇哉　守武
ゝゝ扇ゝとゝゝ紙ゝゝ扇ゝ　重一
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ扇ゝ　知自
布見紙ハかゝゝ君ゝ扇ゝ　勝政
暑ゝ涼ゝ月ゝゝ見ゝ扇ゝ　宗雅
風のゝゝゝゝゝ扇ゝゝゝ　親十
ゝゝきゝゝゝ見ゝ方ハ園哉　親信

富士山をかけるにもしやの扇の絵　昌房
震面の日登るもなる扇の形　立園
人毎にあらんかやもちあつる　同
かけてくいかなるうちの汗やうち園　同
河ちかねの雪やわらかに章扇　同
月見るわれ此岩戸の扇絵　同
源風の絵をもとれる扇うれ　同
源さえ進ちかにあるかきうか　同
吹風絵細工ちる扇うか　同
汗絵さえ見るよりうなかきう扇　同

鵜　付川狩

後世ハいかにいうせうん鵜縄か　空政
鵜つかひのすなをとりかハ身ハうれ　定親
川狩や使ハ中にも実とろ　常辰
河狩の河や書業ハ紅葉榊　妙子
くるくるくるくるくるくるくるくるい私　立園
入りにあ收帳うなるん泗の実　同

蟬

長竹ろ吟しをやまの蟬の声　貞徳
山の色をたとろうすの中や蟬乃琴　重頼

夏ちかしも鶯ハ河面をせゝの音　正信

蝉の声や雲ゝみさゝねに日照る　成之

こ山まれその梢しらや蝉乃音　意翔

山ひこハあつまうゝ蝉ゝ音　昔光

涼風ハうちやゝ涼し蝉の声　立女

うゝね匂ゝせゝくゝせゝ音のゝ　重明

えのしゝや蝉ゝ河面乃面影　定親

うつゝさかゝそ蝉のぬけ殻　友負

夏ゝ紙の御いとゆめやせゝの音　立圓

夕立

鳴神や夕立雲ゝ太鼓　長吉

せゝらぎて山ゝ夕立や軒乃雨　負徳

夕立ゝ晴ゝ面のあゝやゝ　紹性

ゆゝゝやゝゝゝゝ名ゝゝいつゝ川　定親

鳴神や夕立雲乃あ　重因

ゆゝゝゝゝゝ肌ゝゝゝ汗拭い　嶺利

夕ゝゝゝゝ青海ゝゝの波ゝ　政之

富士山や白雲乃峯　同

白雨ゝゝゝゝゝ雷乃雲　昌房

夕立や気色晴てゝゝの風乃雲　立圓

ゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　同

国立国会図書館　タイトル『小町躍』　請求記号 本別3-5
ガラス使用

夕立ハ去て天国のなるれ哉　同

雲嶺

雲ハ岩もとゆくしらけて富士の山　李重

富士山や炎天ハ雪乃家　流味

暑き日の清水や元すん雪のうれ　来安

崩るくハ玉物たをしら雪の峯　友貞

夏山とこれやゆきん雪ハみな　昌房

富士詣

おろしてハ不死稚子や白仏　徳忠

ひるの水数うく堀離や富士詣　未元

金剛や雨ふる富士詣　春行

清風や河豚のこうれ富士風　昌房

抵蘭會

玉洋ハ遠ゆるは紙や抵蘭の云　正後

抵蘭金やせんさもちくひくぬ　休甫

抵蘭云や洋もしくやしれよの色

蓮葉の山ゆ塾田の抵蘭ハ云

抵蘭金ゆ紙かさるゆ児探　永吉

抵蘭云や洋のまんくを富山　賀

あれらしや山ゆきあれる紙屋川
山もさくらにうつる紙屋の舎　梅盛
七夕　紙屋川　うつるや稚乃児　重頼
菊の枝や秋の風　花車　賀貞
山ちかしゆゑ貴し紙屋の舎　巖住
紙屋川の底うつる枝や立田山　重周
紅葉や山水うつる紙屋の会　正朝
山ふし舟のうすたなうつる紙屋の会　昌房
紙屋川や秋の山　張九河　永　同

嘉定

第うつるは茶屋乃河や十六童　常辰
越山うつや老と茶屋の年乃寿　立圃

暑日

一雨や面白もれるうつもうつ　盛三
あれもきはうさにいかうつる風の稚　天満宣有
ひうつさるや十方世界光明寺　貞徳
茂の日ハ月ハうつるやいとか　良景
山ひうつさ行とうつるうつ中色き　長好
あれうつさるや川の流うつる乃業間者　貞立
河紙うつる海やあうつさ日照面　常辰

国立国会図書館　タイトル『小町躍』　請求記号 本別3-5
ガラス使用

うしうさう暑き夕日に松うえし　同

汗

かさへ汗ぬぐうさやの山ぶうれ　徳元
汗水もなしに曲の鞠の庭　満直
うせや分ふうたに赤うろ　親信
暑なりは分まりあるや汗のを　嶺利
おちしやや出用い入くく汗ふつく　安言
うせや氣ひきてなうるうるうる　昌房

納涼

立ちはは大まれ陰より夕涼を　重頼
暑さにもまれ日乃あれ山月中　康甫
分ふ乃なうるうるを清乃ふ　光有
舟の帆やうも涼しきたり遊　定時
六ーや涼しき風の神世月　正長
涼しさや夢命れ茅いき乃松　賀
さしろふ衣扇ぬ夕涼を　重頼
廣袖ーうるーさ沈ぬうるみ
涼風に月ふ乃森の蔭うれ
氣晴くや風新宅乃中涼を
涼しさん高ぬめうるる風車

（南氏）
（津国）

元重
宗立
勝吉

風はお汗ハ入ラぬ　　貞川住
震てすゝめ秋風ハ　　有長
涼しさや梅うくさゝハうゝ　　春良
涼風の神ハやしろの下屋敷　　之女
すゝみあつさとわれぬ赤ぢれ　　同
えるに帆の形や涼しの座うけ　　常辰
涼しさやいかり岡もし所ぶね　　同
あつき日ハ清水や張乃馬とも先　　定親
涼しさハ鞍して乗る風ぬるか　　同
汗水とらしら提ちうみ風　　本安
さし張や風すゝしあれ道祖神　　親信

汲立ハ水や涼しき井戸茶屋　　貞
うかり来て奥ぬ山ぬ風乃口　　昌房
日ざしもあのたゝ陰やタすゝ　　同
涼しさハなゝしやうゝ帆うけ船　　主圃
涼風の文字紙ぬ風形乃　　同
涼うぬみこうゝ赤く清ちうり　　同
文なうゝ土用や秋乃タすゝみ　　同

薫風

人ゝまぬ山ぬ袋ハ風　　信親
ものぬと風紙ひうせぬうぬ　　素言

風うちはらせこの宮の森林　信世
業湯の風のうちわりや馬山　親十
大将ゆさなうるうるみるる風　立圃

泉　付清水

源さい河内ふもとの泉の邪　正式
迴文
手拭の帯をひろうね清ふれ　一西
小山の清ふ立ぬ水の源　番重夏
立寄て扇ばたくむ清水の邪　鶯
汲酒の源さをくいつるる　堂

蓮

水堂といふ池の蓮花寄　麦友
ふとれぬいとも加しこ紀蓮うる　麿哉
蓮こそ七宿なりて仏の座　昌意
かくやたよ絵やかもし蓮花寄　宗利
迴文
報の菓の実もそのまま蓮ふ　吉里
なうすちいるとしたのこれ蓮うれ　定行
水わうれぬもしや蓮の花の文　素安
月とへも昇海と泥の蓮う邪　清下
光りそへ蓮乃実や仏蓮薄　昌房
特白む妙法蓮華経乃文　立圃

御祓

英雄や流してもたにみそぎ川　貞室

たもとゝ落ちさかなる御祓川

遥かや年ふるかみ川社　定親

渦してうや水わかるる御祓川　同

山祓する身は拔ぬや汗のこい　昌房

入風や塩ゐんさゝなる祓　同

浮ぶ沢ゝとすゝやゝのみそぎ川　立圃

ゝゝする川涼や奥は毒ゝ　同

夕立や貴賤男女は祓川　同

暮雲

雲と秋はいすれ貴や夕涼ゝ　元清

雲吹ハ瀟ゝ有ゝきさらぎ乃風　可全

林帰ゝ入あひ雲の言

雑菱

羽衾や未のもつみそ山桃　芝友

ゝゝ雲ゝ紫式部ゝゝ草　重成

すゝの霧ゝの濃ゝや苔松茸　正直

ひゝ月ゝゝ桃ゝ未実ゝ　常和

遐夫

しらん花の実に名い梅月よ　元与
あひぬ月と浮雲や夜乃月　加友
うく袖ちれさくらや香薫散
はくあたかくれぬ匂ひぬくるかな　宗静
井よりや花色名のくらん相乃頭　重ん
かくして思ひ恋くかさつや面日紅
酔心ゆきふなすさ麻芽酒　知徳
浮くさい秋やくるとろてん　重頼
達ろこ雑くさ紀乃花　貞徳
流くたくしやみくめ夜茶碗　幾壺
三ゆくれ乃ろ行風炉の茶乃湯かな　巷瓢

夏ノ花七

わきくりたまいい風炉の茶の湯　西良安
初乃名とろてんとやうろて　不卜
あんにくう古月い風のうるか　清甲
追善
うくろもなくこれ神や古月り　定親
国こそさつきしくし嶽とれ　好与
香久山や重れ衣の古月り　春貞
形式えくかくまねさつきぶ　立圃

夏ノ花八終

別 3
2
5

大正
13. 5. 14
購求

27.8.28

巣文庫

国立国会図書館　タイトル『小町躍』　請求記号 本別3-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『小町躍』 請求記号 本別3-5

ガラス使用